

# たんちょう通信

～ 第 100 号 ～



丹羽 孝直

こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつも「たんちょう通信」をお読みくださり誠にありがとうございます。今月の通信で記念すべき「100号」を達成しました。これも一重にお客様、お取引先、そして地域住民の皆様への支えとご支援のおかげと思います。先ずもって、皆さまへ御礼を申し上げます。感謝の気持ちで一杯です。そして、もう一人感謝しなければならないのは元社員の「丹羽昌邦くん」私の従兄弟です。「たんちょう通信」の始まりは、実は「丹羽昌邦くん」だったのです。今、彼は建設会社を立上げて、現在新社屋を建てております。先日、弊社へ新築工事の図面をもって、ガス工事とプロパンガスの供給は是非「丹頂ガス」に頼むと言ってくれました。とっても嬉しかったです。彼曰く「当時、僕は誰よりも丹頂ガスが好きで、良い会社になりたいと思っていました。」「丹頂ガス」を「お客さま」へもっと知ってもらうために「たんちょう通信」を書き始めました。その想いは「お客さま」に伝わり、初刊より結構な好評をいただいております。退社時に彼は「たんちょう通信」の引き継ぎをとっても心配しており、誰にバトンタッチしていくかを悩んでいました。そこでやはり、ここは社長の私が引き受けるべきだと思い、「たんちょう通信12号」平成26年9月から引き継ぎ、早いことに10年目に突入しました。その翌年、河合菜摘社員が入社し、子供のころから絵を描くことが大好きという彼女に「たんちょう通信」の作成をお願いしました。持ち前の柔らかいタッチで「たんちょう通信」のオリジナルの味を出してくれています。皆さまにも大変好評で、お客さまに褒められる度に、彼女もやり甲斐を感じて喜んで描いています。表面のコラムは私の近況報告、裏面の上部が社員紹介、下部が「防災ミニ知識」と毎月河合社員に考えて貰っています。皆さまへ「防災の知識」が少しでもお役立ちできればと思って掲載しております。弊社のミッションは「お客様の生活を守ること」です。皆様の毎日の生活を当たり前で過ごせるよう、住宅設備工事を通じてご提供することです。そして、弊社のテーマは「地域防災」です。天変地異の時は、「地域住民の方々」と連携をとって「地域活動」をすることです。先日、お客様から「東日本大震災の体験談」をお聴きしました。災害時に欲しいものを上げて頂きました。①水②電気③火でした。水は井戸を掘り、電気はプロパンガスで発電する発電機を用意して、火はガスで起こすことができます。災害時に「丹頂ガス」にあれば、少なからずの水と電気とガスをご提供できるように整えて参ります。「たんちょう通信100号」を記念して今後の取り組みをお伝え致します。引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。感謝



泰心建設(株) 丹羽社長



たんちょう隊の公式LINEはこちら!



住まいのちょっとしたお困りごとの解決方法をお知らせしています。



公式Instagramはこちら!

たんちょう隊の活動や日常の様子を投稿しています。フォローお願いします!



TANCHOGAS



皆さま、こんにちは。今年5月に中途入社された丹羽智彦(48歳)です。私が27歳で名古屋「栄」の「トップカメラ」店長に就任した頃の話です。前任の店長は今の私と同じ程の年齢で、当然部下となる副店長をはじめ、部門責任者の全員が私より年上です。私は「年下の私にみんなついてくれるか不安です」と当時の社長に漏らしました。社長からは「思い切ってください!」とお言葉を頂きました。その頃名古屋は「ビックカメラ」をはじめ、続々と大型量販店が進出し、競争が激化していました。

丹羽智彦 生き残りをかけて、店長として大規模リニューアルの陣頭指揮を執る事となりました。取扱商品の取捨選択、レイアウトの変更等、計画を自らが立案し、それを部門責任者とシミュレーションするのですが、「その商品の取り扱いを止めるというのはおかしい!」「カメラだけでなく中古品買取は大変なのに時計やパソコン、お財布やブランドバックの中古品買取なんて無理!」等々、様々な意見が出て、店に泊り込みをして、プランの修正を何度も度々おられました。そして再度シミュレーション⇒意見集約⇒新しい泊り込みのサイクルを数日間続けました。もがきながらも何とか全員が納得いく形が出来あがり、社長の決裁を得た時はとてもうれしく、涙が出ました。従業員全員が協力してくれたお陰でリニューアルも無事成功させる事ができました。今では当時の有名店が姿を消している中、若い力で変えていく「トップカメラ」は今でも「栄」でしっかりと営業を続けておられます。

防災コーナー

非常食を備えていますか?

災害発生後、ライフラインが復旧するまでのための備蓄として、今までは最低3日間分と言われていましたが近年では大規模な災害に備えて、「家族人数 × 7日間分」の備蓄が推奨されています。

- 〈非常食を選ぶ際のポイント〉
- おいしさ ○ 食べやすさ (調理しやすいもの、火や水を使わずに済むもの)
  - 栄養バランスに気をつける ○ 家族みんなが食べられるか
  - 容器をそのまま食器代わりに使用でき、後片づけが簡単なものを選ぶ。



11月11日(土)、12日(日)開催の丹頂ガス秋の大感謝祭では「非常食の備え」にお役立ちできればと、「アルファ化米」の食べ比べができる「防災食グランプリ」を行います!

(アルファ化米とは、お湯または水を入れるだけで調理ができる特殊なお米のことです。)  
いざというときに初めて食べるのではなく、非常食の味を知っておくことで、災害時にも抵抗を感じずに食事ができます。ぜひこの機会に食べ比べてみてください!



皆さまこんにちは。入社8年目の河合菜摘です。たんちょう通信のイラストと作成を担当しています。たんちょう通信は今月で100号を迎えました。いつもご賢頂き、ありがとうございます。お客様から、「毎月たんちょう通信を楽しみにしているよ!」とお声掛け頂く一言がとても嬉しく励みになっています。これからも、和みあるたんちょう通信をお届けできるように頑張ります!

